

各事例の詳細について

平成22年5月9日
農林水産省

番号	確認場所	経営状態	飼育頭数	位置	経過	検査結果 陽性 (9日判明)
50	児湯郡川南町	養豚	1,056頭 (繁殖豚137頭 子豚714頭 肥育豚205頭)	34例目の 農場から 南西約50m	・5月8日、獣医師から宮崎県に対し、飼養豚1頭の乳房及び乳頭に水疱を確認したと届出 ・同日立ち入り、当該豚の乳房、乳頭の水疱、蹄の潰瘍等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所へ送付	1頭
51	児湯郡川南町	養豚	613頭 (繁殖豚55頭 種豚2頭 肥育豚455頭 子豚101頭)	10例目の 農場から 南約750m	・5月8日、農協職員から宮崎県に対し、飼養豚の発熱、肢からの出血等を確認したと届出 ・同日立ち入り、当該豚の発熱、肢からの出血等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所へ送付	1頭
52	児湯郡川南町	肉用牛繁殖	17頭 (繁殖牛11頭 子牛6頭)	42例目の 農場から南約 50m	・5月8日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛の口腔内がただれていると届出 ・同日立ち入り、当該牛の流涎(りゅうぜん)、舌等のびらんを確認 ・同日、検体を動物衛生研究所へ送付	1頭
53	児湯郡川南町	肉用牛肥育	97頭 (交雑牛)	8例目の 農場から 南約50m	・5月8日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛2頭の流涎(りゅうぜん)等を確認したと届出 ・同日立ち入り、3頭の流涎、鼻腔内の水疱等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所へ送付	3頭
54	児湯郡川南町	酪農	126頭 (搾乳牛81頭 育成牛23頭 肥育牛3頭 子牛13頭 肉用牛子牛6頭)	23例目の 農場から 北約500m	・5月8日、宮崎県による聞き取り調査の際、飼養牛1頭の口腔内に異常があるとの申告 ・同日立ち入り、10頭の流涎(りゅうぜん)等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所へ送付	2頭
55	児湯郡川南町	肉用牛繁殖	15頭 (繁殖牛8頭 育成牛1頭 子牛6頭)	35例目の 農場から 南東約200m	・5月8日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛1頭のびらん等を確認したと届出 ・同日立ち入り、3頭の流涎(りゅうぜん)、口腔内のびらん等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所へ送付	3頭
56	児湯郡川南町	肉用牛繁殖	4頭 (繁殖牛2頭 子牛2頭)	33例目の 農場から 北東約450m	・5月8日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛1頭の流涎(りゅうぜん)等を確認したと届出 ・同日立ち入り、当該牛の流涎、舌のびらん等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所へ送付	1頭